調査表①

JDS 受入大学要望調査(2025 年度)
調査票① 受入提案書

課題毎に作成をお願いします。10 フォント使用、日本語で 4 ページ以内。

大学名・研究科名	
専攻、コース、プログラム名	
調査票①に係る担当者・連絡先(照会先)	役職・名前 Tel: E-mail:
国名	
開発課題(ｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ)名	No. 「 」
JDS 留学生が取得可能な学位名称及び必要単位数・修学期間	① / 単位 / ヶ月 ② / 単位 / ヶ月

受入提案 :以下の点を踏まえたご提案をお願いします。

① 受入国が重視する開発課題の解決に資する専門知識の習得ならびに機会の提供
② 将来的に当該国の指導者となりうる行政官等へのリーダーシップ育成
③ 上記目標の達成に必要な特別プログラム

1	対象国の開発課題に対する指導方針		
2	指導内容	既存カリキュラムの内容と特徴 課題解決との関連性	※本件 JDS 留学生が履修する(可能な)カリキュラム一覧を添付願います。
		既存のカリキュラム以外で付加する内容(特別プログラムや、フィールドワークなどの機会提供及び JICA 協力実績を踏まえた提案含む)	
		公的機関等でのインターンシップ機会提供の有無[1]	有( ) 無( ) ※ いずれかに〇をつけてください。
		公的機関等でのインターンシップ機会提供の内容について(具体的な事例)	
		帰国留学生に対する付加価値提供の提案内容	

[1] JDS 事業では、各国のリーダーとなり知日派の行政官を育成する目的から、本邦行政官や開発課題に関連する企業等とのネットワーク構築を重視しています。中央省庁、自治体、企業等でのインターンシップのニーズが高いことから、当該組織でのインターンシップや研修機会を評価します。

3	指導体制	指導体制の特徴・充実度（人材育成面も含む）	※JDS 留学生を指導される（可能な）教員一覧を添付願います。
		対象国・開発課題における研究実績、論文タイトル、強み等	
		日本人学生との交流機会 （交流や就学機会の提供に関する工夫[2]）	
4	受入経験	研究科における留学生受入実績（JDS 含む）、留学生帰国後の関係構築（帰国留学生へのフォローアップ実績含む）	
		過去の留学生受入の成果や教訓、改善点等	
5	その他生活面でのサポート （留学生センター、学生寮、日本文化体験、地域交流、福利厚生等）		

[2] JDS 事業では知日派育成の観点から、日本人学生とのネットワーク構築を重視しています。日本人チューター配置やゼミ等の小グループでの就学において日本人学生と共に学び、過ごす環境について評価します。